

開局50周年に向けて さらなる番組コンテンツ力の強化へ ～テレビ東京らしい音楽番組の追求～

“テレビ東京には音楽番組のDNAが流れている”といわれます。アーティストの世界をいかに昇華させてテレビで表現するか…開局以来、脈々と受け継がれてきた制作力は演出家に留まらず、美術、技術などあらゆる分野に継承され進化しており、永年に亘り築き上げてきたアーティストサイドとの信頼関係は確固たるものがあります。テレビ東京は開局50周年に向けて今後もキラーコンテンツの要として様々なジャンルの音楽番組に挑戦してまいります！

株式会社テレビ東京 制作局長 大島信彦

バラエティ豊かな音楽番組

様々なジャンルの音楽番組を企画開発し、音楽番組のDNAをつないでいきます。



- 1 ご本家歌手vsのど自慢有名人のカラオケ・ガチンコバトル!「カラオケ★バトル」
- 2 60～70年代の歌謡曲・演歌・フォーク・ロックをランキング形式で楽しむ「名曲ベストヒット歌謡」
- 3 クラシックの名曲の終わりとともに新年を迎える年越しカウントダウンライブ「東急ジルベスターコンサート」
- 4 2001年にスタートした本格的なJ-POP音楽番組「月刊MelodiX!」



ポイント1 ライブ感

臨場感たっぷりの 公開収録

「木8」では、一般の視聴者をホールにご招待して公開収録しています。たくさんの聴衆とバンドの生演奏で、出演者の緊張感、集中力、そしてやる気はいやがうえにも高まります。スタジオ収録にはない、公開ライブならではのパフォーマンスが見られる点に多くの支持をいただいています。

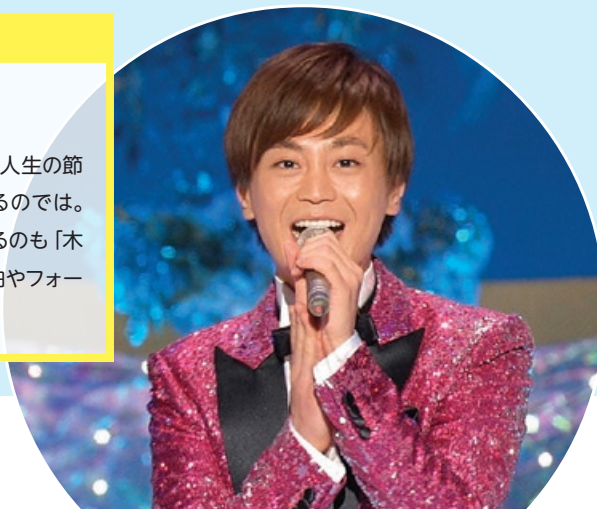
昨年10月にスタートした テレビ東京 「木曜8時のコンサート」が好調!

昨秋の番組改編を機に登場した「木曜8時のコンサート～名曲!にっぽんの歌～」(略称 木8:モクハチ)が、放送開始以来好調をキープしています。レギュラー音楽番組として5年半ぶりに復活した「木8」の魅力とは?

ポイント2 名曲の数々

生で聴く懐かしの歌

誰にでも幼少期や青春時代の思い出の曲、人生の節目の出来事と重なる忘れられない歌があるのでは。そうした懐かしい“名曲”がふんだんに聴けるのも「木8」の魅力のひとつです。演歌をはじめ歌謡曲やフォークソングなど、1時間たっぷり楽しめます。





ポイント3 観客との交流

ライブならではの エンターテインメント

「木8」は、視聴者に歌を楽しんでもらうのが一番のテーマですが、エンターテインメント番組として、歌以外にも楽しめる工夫を凝らしています。出演者が客席に突然現れる「客席インタビュー」のコーナーは、出演者のアドリブ、観客の思わぬ反応やハプニングなどもあって、笑いあり、ドキドキ感ありで楽しめます。

テレビ東京でレギュラー音楽番組が復活！

**木曜8時の
コンサート**
～名曲! にっぽんの歌～

木曜
夜7:58

司会: 宮本隆治、松丸友紀 (テレビ東京アナウンサー)

プロデューサーインタビュー

**テレビ東京があえて
ゴールデンタイムに復活させた歌番組。
番組にかける思いと舞台裏について、
「木8」プロデューサーに聞きました。**

Q なぜ、ホールでの公開収録なのですか？

歌番組をつくるなら、たくさんのお客様が入ったホールで歌手の方に歌っていただく公開収録が一番良いと考えたからです。スタジオ収録に比べて手間も費用もかかりますが、より良い番組づくりのために、出演者のパフォーマンスを最大限に引き出すお膳立てをするのは、制作側の使命だと考えます。

Q 番組のオープニングに美空ひばりさんのナレーションと題字が出てきます。

ターゲットとする年代の視聴者の方と話をしている、美空ひばりさんへの思いが特別であることを知りました。何らかのかたちで美空ひばりさんに登場していただきたいと考え、オープニングに起用させていただきました。題字は生前の日記などから一文字一文字を選び出し、ナレーションの声はかつて「演歌の花道」にご出演いただいた時のものを合成しています。

Q これまでに大きなハプニングは？

番組開始当初、予定の収容人数以上のお客様にご来場いただいたことがありました。招待券は、当日お越しになれない方を一定数見込んで、少し多めにお配りしています。空席をつくらないのが理想的ですから。

しかし、その日はキャンセルされる方が思いのほか少なく…通常なら空けてあるカメラ周りの席を急遽開放するなどして事なきを得ることができました。

Q 「客席インタビュー」が好評だとか？

当コーナーはお寿司でいえば「ガリ」のようなものですが、歌手とお客様の一体感の醸成に一役買っています。お客様は、どの歌手が登場するのか全くわかりません。また、誰にインタビューするかは、歌手の方にお任せしています。事前の演出をあえてしないことで、ドッキリ感が出て、ハプニング的な面白さが醸し出されるのではないのでしょうか。

Q 「木8」を今後どのようにしていきたいですか？

歌番組自体は大いなるマンネリといえなくもありません。しかし、同じ落語家の同じ噺を聞いてもその都度楽しめるのと同様、生の歌も聴くたびに新しい感動を与えてくれます。現状、「木8」はある程度の視聴率をとれていますが、まだまだ認知度は低い。良い歌をお届けし、視聴者や観覧者を元気づけるという基本的な思いはブレることなく、もっと認知度を高め、息の長い番組に育てていきたいですね。



株式会社テレビ東京
制作局 CP制作チーム
関 光晴

観覧募集 (抽選)

「木8」のステージを生で観てみませんか！

観覧ご希望の方は、応募要項に沿ってご応募ください。

応募要項

- ハガキに必要な事項を明記の上、ご応募ください。
- 抽選でペア (2人1組) でご招待いたします。
- 会場、開催日、出演者等は、番組やホームページでご案内しています。
<http://www.tv-tokyo.co.jp/official/meikyoku/>
- 応募の締め切りは、各開催日の10日前の消印まで有効。
- 当選は、招待状の発送をもって代えさせていただきます。

50円 切手	郵便はがき 105-8012	<input type="radio"/> ご希望日 <input type="radio"/> 住所 <input type="radio"/> 氏名 <input type="radio"/> 電話番号 <input type="radio"/> 年齢
テレビ東京 「木曜8時のコンサート」 係		